

## 集録原稿の様式見本と手引き

1. 原稿は白色 A4 サイズを縦向きで、パソコンを使用する。
2. 原稿の枚数は A4 版 5 枚以内とする。(図、表、写真、参考文献等すべて含む)
3. 本文は、研究動機および目的、方法、結果、考察、結論またはまとめなど適切な見出しを付け、記述する。
4. 図、表を挿入する場合、レイアウトは自由だが、論述の根拠となるデータを厳選し、図、表の文字、数字は判読可能なものを挿入することとし、図は下に番号とタイトルをつけ、表は上に番号とタイトルをつける。
5. 写真、図、表は白黒の写真製版できちんと見えるものであるか確認する。
6. 文献の記載様式：下記参照での記載をお願いします。

### ◆ 参考文献記載方法

#### \* 「雑誌論文の場合」

著者名、論文名、誌名、巻数、号数、出版年、はじめのページーおわりのページ、

#### \* 「図書の場合」

著者名、書名、版表示、出版、出版地、出版社、出版年、総ページ数（シリーズ名、シリーズ番号）

#### \* 「論集、学会集録集等に集録された場合」

著者名、論文名（論集の編者：論集名、版数、発行所、発行年（西暦年次）、記載ページ）

#### \* 「電子媒体の場合」

著者名、書名、版表示、出版社、出版年、(媒体表示)、入手先、(入手日付)

#### \* 「Web サイトページの場合」

著者名、Web ページの題名、Web サイトの名称（媒体表示）、入手先（参照日付）

### ◆ 引用文献の記載方法

いずれの場合も引用箇所直後に、<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup> 一連番号をつけ、論文末尾の参考文献リストの番号と対応させる。

あるいは、一連番号ではなく（山田 2005）のように、著者名と出版年を（ ）でかこって示し、参考文献リストは著者名順に並べる。

7. 「用いる符号の順序」 数字では…… I、1、1)、(1)、① とする。

レイアウト例 3.0 cm (余白)

**1行あける**  
演題名

**1行あける**  
●○○△△△病院

**1行あける**  
○ 阪神花子 西宮五郎

**2行あける**  
I. はじめに  
近年、日本の少子化が進むと  
共に高齢社会に突入したことは、○○○○○。

**1行あける**  
II. 研究目的  
日本における少子化の影響  
を知る。  
○○○○○○○○○○○○○○○。

**1行あける**  
III. 研究方法  
1. 対象  
2003年1月1日～2004年3  
月  
31日までの○○○○○。

**1行あける**  
IV. 研究結果  
1. 対象者の概要  
対象は○○○○○○○ (○○)  
○○○○○  
○○○○○○○。  
2. ○○の発生状況  
発生状況は○○○○○○○○  
○○。  
1) ○○○○○○○○○○○○○○  
○  
(1)  
①

20 文字

40 行

文字は  
10.5 ポイントで

2.0 cm  
余白

2.0

3.0cm (余白)

発表者の名前の前に○とふりがなをつける

書き出しと改行の冒頭は1文字あける

句点・濁点・「・」の類も1文字とする